



一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)

阿倍野のなつかしい 8ミリフィルム映像や 思い出の品

新緑が輝く日差しの中、平成22年4月17日(土)午後1時〜4時、育徳コミュニティセンター2階研修室で、宮本亘さん(自営業)と宮本博史さん(アーティスト)をお迎えして「阿倍野のなつかしい8ミリフィルム映像や思い出の品々」のスクリーン映像を見せたい。いただきながら、お話を伺いました。

宮本家は戦前より阿倍野区内に住み始めて70年。祖父は戦争で片目を失い帰国。その後、亘さんが結婚されて長男の博史さんが誕生。3世代の家族が一緒に暮らし、家業の下宿を営んでいました。1日2食付きで、肉

体労働者など6〜70人の世話をしていたので、女性方は日々多忙でした。また、2代目の亘さんは、建設業や不動産業で忙しい日々を送っていたので、子どもの世話は祖父が見ることが多かったそうです。祖父は、カメラや8ミリ撮影が好きで家族の日常生活の動きや地域の風景をこまめに残していました。

博史さんは、そのお祖父さんにかわいがられて成長したので、写真や映像に興味を持ちました。博史さんは、残された昔の写真や8ミリフィルム映像をアートとして多くの人に観てもらい、それを媒介として人と人がつながってゆきたいと考えました。



自分が今、存在することから見えてくる家族のつながり、人と地域のつながり、昔の文化と今の文化のつながり、昔の地域の風景と現在の風景の違いなど知ってほしいと考えました。写真

や8ミリフィルム映像を編集し

て一般公開をしてゆき、アーテ
イストとしての活動を始められ
ました。また、写真や映像だけ
ではなく、自宅のマンションに
住む父親の住居（5階）を一般
に公開して、家具や使用してい
た道具などもそのままにして、

父親のその在宅の姿も作品の一
つとして来場者に観てもらい、
来場者がそこで何を感じてどの
ように考えるか。そこから来場
者本人のあり方が見えてくるか
もしれないと思いました。また、
初対面の人たちがその場所に居
ることにより、お互いに語り合
う機会も生まれてほしいと思い
ました。

○スクリーンの映像を観ながら、
亘さんと博史さんの話を伺いま
した。

1 宮本博史さんの生い立ち

宮本博史さんが誕生した31年
前の映像。祖父が父親になった
亘さんにあれこれ指示を出しな
がら、産院病院から退院する様
子を8ミリフィルムで撮ってい
る。

この時、父親の亘さんは31歳。
高度経済状況で、多忙であった
が子どもを授かった喜びは人生
最大の喜びであった。が、子ど
もはそれを知らないで育った：

（亘さん談）

2 宮本家の現在の写真と

場所の説明。

1年前のマンション内の様子。

生活している日常の姿を見ず知
らずの人に公開している。昭和
62年に撮った祖父の顔のレント
ゲン写真。左目頭に残っている
銃弾もくつきりと見える。また、

使用していた義眼や一升瓶、円
卓、父親の日記も置かれていた。

（義眼・レントゲン写真・日記
等は参加者に回覧されました）

祖父は一升酒を飲み機嫌の悪い
時は、丸い食卓をよくひっくり
返した。昔は祖父の顔色を見て
生活をしていた。父親は怖い存
在であったが、孫には甘く優し
いジイでした。（亘さん談）

3 50年前の宮本家の

8ミリフィルム

家は2階建てで、下宿屋をし
ていた。周りに空き地があり、

家の前の道に高いコンクリート
の塀が見える。その向こうに地
下鉄御堂筋線（天王寺駅〜西田
辺駅間）の工事が行われていた。
家では鶏を飼っていた。玉子を食
産むところを見たり、玉子を食
べたりしていたが、飼っていた
鶏のかしわ料理は食べることが

できなかった。文鳥を飼うのも
流行っていた。（亘さん談）

4 25年前の宮本家の

8ミリフィルム

宮本家の立替、地鎮祭の様子
が写されている。

現在のマンションに建て替え
られる。

宮本博史さんは、20代に自分
の存在に悩んだ時があり、その
時に自分の基礎的なものに気づ
きました。家族である祖父、祖
母の存在。父と母の手紙を見て、
自分の現在があると。他の人と
自分との関係を考え、自分だけ
では生きていけない、自分だけ
では存在しない様々な状況を捉
えることが面白いと考えました。
そして、存在して成り立つ自分、
よりよく存在して話し合える知
人たち。「存立」という言葉に

託してそれぞれの存在が成り立ってほしいと願い、そこに新しいコミュニケーションが生まれ、てくると考えています。

どこかで眠っている8ミリフィルムがあれば、再生してCDに収録することも出来るので、協力したいと言っていたきました。

この日、阿倍野区在住のサロン参加者にとっては、身近な場所の今昔を観ることが出来て、懐かしい話も交わされました。短時間でしたがタイムスリップした時間を共有できた(サロン・あべの)4月の出会いでした。(参加者26名 富田慶子)



御礼と感謝

初夏の日差しがまぶしい日々となつてまいりました。

皆さまには、お変わりございませんか。前号の「サロン・あべの」紙286号で、編集委員

(石)さんが急病で入院のため、従来の紙面作りが出来ないとのお詫びをさせていただきました。

その後、多くの皆さま方より、お見舞いやご心配くださるお問

い合わせをいただきました。また、「よりみち」の再会を楽しみにお待ちしていると、お便りもいただきました。

本当にありがとうございます。お陰さまで(石)さんは、快方に向かつております。今後の体力回復を願うと共に、リハビリに励んでいただき、1日も早いサロン復帰を願っています。

なお、今月の「サロン・あべの」紙作成は、セルフ社のご協力をいただきまして、無事に発行することが出来ました。これからこの形でサロン紙を発行させていただきます。

皆様方のご理解、ご支援、協力を賜りまして、ありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

(サロン・あべの)委員一同

お知らせ

<サロン・あべの>6月の出会い

- 内容…「引越しました。
車いす住宅に」
～難しかった道のりと快適な生活～
- お客さま…岸田美智子さん
(「まいどー」管理人)
- 日時…6月19日(土) 午後1時～4時、
- 場所…育徳コミュニティーセンター2階、
研修室
[大阪市阿倍野区5-15-28
06-6621-1901]
- 会費…なし、
- 問合せ先…TEL06-6691-1028
(富田慶子)

相性

相性（あいしやう）というものがある。

「なんとなく、あの人とは合わない」という感覚である。それを自覚しないうちは、「たまたま相手の機嫌が悪かったのだろう」とか「いまのところ共通の話題がありそうもない」とか思えるのだが、相性の悪さを自覚するようになると、いつそう相手のことが苦手に思えてくるから不思議なものだ。

私の周りには、あまりに上司と合わなくてストレスのために難聴になった人が何人かいる。その人たちの場合は、狭い職場を共有しなければならず、勤務時間中はずっと顔を合わせなければならなかったのだから、その苦痛たるや想像を絶するものがあったのだろう。

もちろん、その苦痛は現実の病氣や貧困

などと比べたら「想像を絶する」と言うのは誇張かもしれないが、「職場の人間関係」という理由で職場を去る人が実際に多いことを考えれば、あなたが誇張であるとも非難できないだろうと思う。

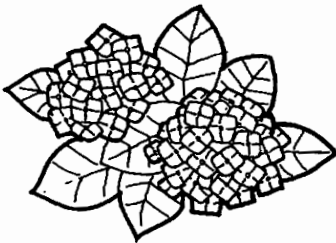
相性が悪いのは、お互い様で、こちらが「合わない」と思っている相手は、たいてい私のことも「合わない」と思っているのではないか。そんなことを確かめたこともないのだが、隠そうと思ってもお互いの態度で出てしまうものだと思う。特に私などは自分の感情を隠すのが得意ではないので、きつと相手は気づいていることだろう。

相性が悪くても、相手を軽蔑し、非難する気持ちもないこともある。私の場合、たいていそうである。いつしよにいても居心地が悪いが（時には非常に悪いが）、かといって仕事上、その人の働きの必要だし、その仕事ぶりを評価しているところもある。であるから、その人を評価している人を見ても、それを「騙（だま）されてる」とも「愚かだ」とも思わない。ただいつしよになって、その人を褒（ほ）める気にはなれない。また、その褒めている人と、なん

となく距離を置きたくなる気持ちが出てくるのは、どうにも仕方がないことらしい。

逆に私と相性の悪い人が悪口を言われていたら、私は少しだけ弁護したくなる。これは、私とその人との相性の悪さが、第三者に伝わり外に出してしまうと、相性の悪さがそれだけの問題では済（す）まなくなり、感情的な対立になってしまふからなのかもしれない。相性の悪さは、その当事者双方が感じているだけなら、それ以上、広がらない。単に気分の問題にすぎないのである。

歴史小説などを読んでみると、相性の悪さが当事者の死につながることもすらあることに気づく。性格や価値観の相違が相性の悪さを増すのであろうが、戦争や内乱の時



代には、それが憎悪になることもある。また相性の悪さのために情報の交換が疎（おろそ）かになり、あるいは互いの理解が不十分になり、味方どうしであっても、それが敗戦につながり、双方が、あるいは少なくとも一方は滅びるという結果になることもある。

そういう小説を読むと「なにもそこまで相手のことを嫌う必要は無かったのに」と思うが、それは第三者だからこそ言えるのであって、当人は、その嫌悪感をどうにもすることができなかったのだらうと思う。

逆にいえば、相性の良い人といっしょに働けるのなら、これはとても幸いなことだ。この人も「私と相性の悪いあの人のようであつたらどうだろう」と考えれば、いまがとても幸運に思えるのである。

幸い、いまは戦国時代と違って、相性が悪くても殺されることはない。単なる苦手意識を自分の心のなかで大きくしてしまわないように気をつけて、むしろ気のあう人とも出会っている幸運を喜ぶことにしようと考えている。

(知)



岸田美智子

特別加算について

長時間のヘルパー派遣が必要な重度障害者は、重度訪問介護を使っておられると思いますが、この重度訪問介護の中でも加算項目があり、最高で30%加算され301時間が大阪市の中では最高の時間数でした。それでもなお、時間数が必要な重度障害者の場合は、非定型として大阪市に申請し、競技にかけられ増やせることができていました。私もこの非定型で毎月395時間をお願いしていました。今回この非定型の算定基準が少し変わりました。その内容については、3つの項目が出てきています。

複数派遣について

重度訪問介護のケースで、外出などで複数派遣が必要な障害者には、範囲を超えて支給決定を行う。

日中の見守りについて

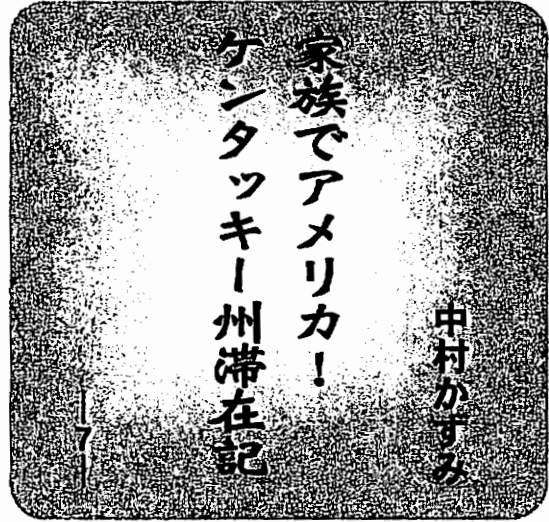
障害状況により、日中活動に通えないケースについては、範囲を超えての支給決定を行う。

深夜帯の介護について

就寝時間における介助については、就寝をおおむね2時間おきに1回1時間介護を設定し、6時間以上の場合、3時間を基本として算定を行っていたが、就寝時間が遅いケースについては(22時以降)必要に応じた時間の算定を行う。

以上のような内容の項目が加わりました。

私もお風呂の時は、2人派遣が必要なので時間数に加えられています。今回の深夜帯の介護については、就寝時間がいつも12時頃なので、申請してみようと思つていますが、いづれにしても、大阪市との協議が決まるので、一度区役所に相談してみてください。



中村かずみ

家族でアメリカ！

ケンタッキー州滞在記

「食事はどうするの？」

外国暮らしにあたって、言葉の問題の次に良くもろう質問です。でも 普段から、朝はトースト屋はパスタだったりしませんか？

食はまったく心配していませんでした。

実際はというと、アメリカ人も寿司に慣れたのか街の食べ放題店や総菜売り場に寿司が並び（なんと職人の握りたて！）現地の人を選んではいきます。スーパーの棚にはSOY source醤油のびんやTOFU豆腐。

TOFUは調理例でブル

ーベリーソースがかかって

いて不安でしたが、中は

普通のお豆腐でした。米も

それなりに近所で買えます。

実は特殊な食材よりも、

あるけど違うものの方が問

題でした。

例えば肉。どーんと塊か

厚切りで売られ、"paper

like"紙の 様に、と切つてもらつても部位

のせいかな、どうも違います。そのうちべら

べら切り落とし肉が懐かしくなりました。材屋です！

合い挽き挽肉も。

例えば卵。生で食べちゃいけません！北

米に限らず、ほぼ世界中で卵は加熱して食

べるのが常識、サルモネラ菌検査など日本

の卵とは生産基準が違うので要注意です。

最初は肉が安くて美味しくて肉三昧、魚

も気取ってムニエルにしていたのですが、

そのうち塩鮭や卵かけご飯が食べたくなり

ました（調理も簡単でしょう？）野菜だっ



鉄板焼き。日本ではショー無しと聞いて、日系コックさんビックリ

レキシントン市内に和食屋が4・5軒あ

りました。

中にはモドキもありましたが（米国人向

けアレンジ？）、他はきちんと、安めに定

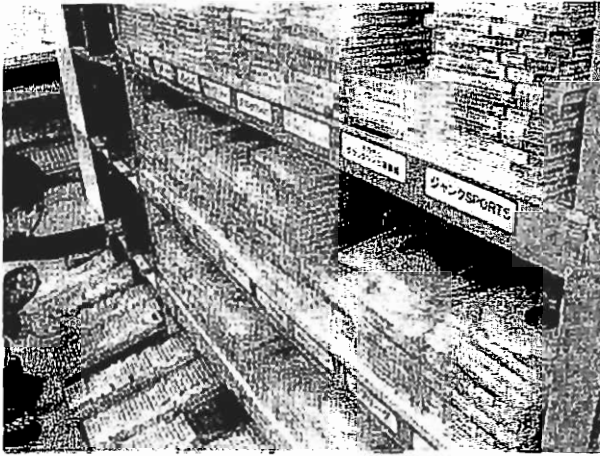
食やラーメンもいけますし、豪勢に鉄板焼

きならコテをクルクル回したり火をつけた

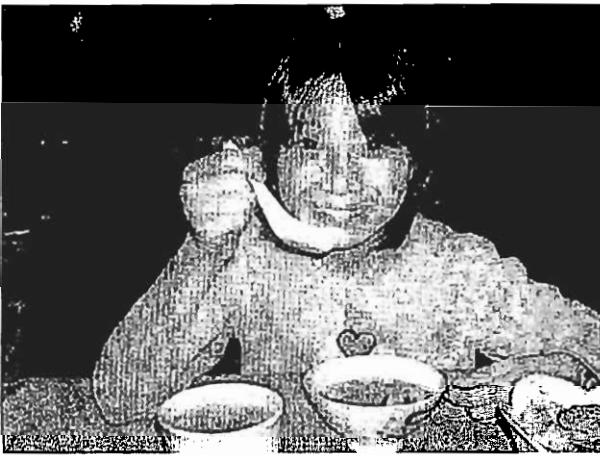
りとショーもしてくれます！（人気店「紅

花」を真似て、全米で日本と言えば鉄板焼

きショーが定番に。本国では見られない”



レンタルDVDを真剣に選ぶコウジ(左隅)。



ご飯茶碗につがれた甘い味噌汁、ニセ物!

和風”です!”

そんな日本人が集まるレストランの横や裏手にあるのが日本食材店で、食べ盛り3人兄妹を連れた我が家は、もっぱらそちらの客でした。“安全な”生卵や、あんパン、干物、冷凍カマボコ。ゴボウ、白ネギ、納豆。日本のジュースやお菓子にお米の10kg袋。(日本のシャンプーや、薬。週刊誌を置く店も)「ヒバリ」は特に、店内に日本映画やTV番組のDVDレンタルがあつて

子供たちと借りては、返却に……とついまた訪れてしまうので、短い滞在の割に日本の食材でよく料理をしていたかもしれませぬ。半年ぐらい、ずっと洋食で大丈夫だと思っていたのに！

さて、「ヒバリ」で買った干物を焼きましょう。アメリカの台所には、大き過ぎるオーブンと食器洗い機はあつても魚焼きグリルはついていませんから、フライパンで焼くこ

とに。慣れない匂いを嗅がされるご近所さん、ごめんなさい!! 2週間に1度ですから……。

そして歯を磨いて学校に行く子供たち。お昼の学食であり得ない味に驚いたり、喜んだりしていたそうで、今回はそんなお話を。

〈映画紹介〉

「ロッキー」(1976年、120分)

ご存じ、ボクシングで成り上がろうとする青年ロッキーを描いた、S・スターロンの出世作。

* * *

主人公が生卵をジョッキでがぶ飲みするのが有名です。

真似する同級生もいたものですが、アメリカ人にとってはゲテモノ喰いーそれしか栄養をとる術がない、極貧ロッキーの決意が鬼気迫る場面なのだそうです。



邦子、 …ん歳の手習い。

定藤 邦子

〈障害当事者運動〉

3月末、博士論文を提出し、大学を退学しました。提出した論文は、これから審査を受けて、可否判定は8月頃らしいです。

私は、大学に社会人学生として長く在籍してしまいましたが、若い人たちとも多く交流することができ、論文の可否に関わらず、いい人生勉強になったような気がします。4月からは、大学の研究生として1年間、もう少し勉強させてもらいながら、亡くなった夫が使っていた本や資料の整理をしようと思っています。

私の論文は、1970年代の脳性マヒ者の障害者団体である「青い芝の会」の運動を取上げました。「青い芝の会」は1957年に東京で設立された親睦的な障害者の会でした。しかし、1970年、横浜で障害児を殺した母親への近隣住民による減刑嘆願運動が起こりました。神奈川青い芝の会は、「こうした事件が起きるたびに減刑嘆願運動が行われることや、施設不足のキャンペーンで事を済ませようとする健全者の社会意識に怒りと同時に恐怖を感じ、このままでは、いつ自分達が殺されるかわからないという危機感」を抱き、減刑嘆願運動への反対の運動を行っていききました。

それ以後、青い芝の会は、深刻な障害者に対する人権侵害や差別の実態を鋭く告発し、障害者の人間存在の意義を主張し、障害当事者からの思想と運動を展開していききました。関東を中心として始まったその運動は、映画「さよならCP」上映運動を通して、全国に広がっていききました。「さよならCP」は、脳性マヒ者のありのままの生きざまや彼らの存在を拒絶する都市構造などを映し出した映画で、健全者中心の社

会への問題提起の映画であるともいえます。大阪では、青い芝の会の理念と運動に共感した特に若い障害者と健全者が大阪青い芝の会を結成し、障害当事者運動を展開しました。彼らは、「そよ風のように街に出よう」をスローガンにした在宅障害者訪問「こんにちは訪問」によって、外出機会の少ない重度障害者ができるだけ多く外に出て行くという運動を展開し、仲間づくりと組織づくりを行っていききました。訪問活動の中で、訪問者達は、就学猶予・就学免除や寝たきりの障害者の厳しい生活実態に接することに、重度障害者に起点をおいた地域に根ざした障害者運動を目指し、それは障害者の自立生活運動へとつながっていききました。

青い芝の会は1973年に全国青い芝の会が結成され、1970年代中頃が最も活発な時期でした。しかし、1970年代後半には、青い芝の会もそれぞれの地域によって、運動方針や考え方も異なってきた。全国統一の運動は縮小されていききました。大阪でも、地域に根ざした重度障害者の自立生活運動という新たな独自の運動を展

開していくことになりました。

1970年代の青い芝の会の運動は、障害者の人権や差別への抗議行動が、しばしば障害当事者だけの座り込み運動にまで及ぶなど、他の障害者からも過激な行動と受け取られ、世間一般からもなかなか受け入れられない部分もありました。しかし、その運動は、各地方の障害当事者運動を刺激し、それぞれの地方から障害当事者運動を立ち上げる契機となり、障害者の自立生活や障害者福祉に画期的な影響を与えました。大阪における青い芝の運動も、現在の障害者の自立生活センターや自立生活に引き継がれていったといえます。

サロン・あへの毎月の感謝

4月分

ご寄付、お茶菓子、果物等と、サロングッズのお買い上げ、ありがとうございました。

カスターネット、安達尚子、磯山幸枝、柿岡忠、小西京子、近藤千枝子、坂井正子、東谷和代、平岡太、その他の方、(敬称略)

晴れのち晴れ

稲垣恵雄

口耳よりな話

ヘルパーのAさんに入浴介助と部屋の掃除をお願いしてかれこれ1年2ヵ月になる。Aさんはいつも入浴も掃除もいっしょけんめいしてくれるのだが、自分でも認めているようにどうも大雑把な面がある。このことを話すと、Aさんは「私はO型なので何かにつけてテキトーなのよ」とケラケラ笑っている。

ところでAさんは毎日、2人の子供の幼稚園の送り迎えをしている。そのためにクラスのお母さんたちともすっかり親しくなっている。だからほとんどのお母さんがAさんの性格もヘルパーをしていることもよく知っているとのこと。

ある日、1人のお母さんが「大雑把なAさんがヘルパーできるんやったら、私たちもできるはずやわ…」と言って、5人のお母さんがそろってヘルパーの資格を習得するという。

この話を聞いたAさんは「私に、ほんま失礼やわ」と口では言っていたが満更そうでもなさそうだ。だって、「大雑把のAさんができるんやから…」とお母さんが言っていたそうだが、5人の人たちをヘルパーになるようにしたのはAさんだからである。それに私たち利用者にとってもありがたく、耳よりな話だと思う。

Aさん、本当に良いことをされたね。今のままでいいから、これからもよろしくお願いします。ちなみに5人のお母さん方は、4月から某学校のヘルパー習得コースで勉強されるそうである。



6月はこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

○サロン「アイ」便りの音訳テープあります。
ご希望の方は西浦まで。
☎06-6757-8574 (西浦)

■「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月20日(日)午後1時30分～4時
内容：「沖繩民謡の魅力」
～沖繩で歌い継がれてきた伝統音楽の魅力
を楽しんでいただきます～
ゲスト：又吉博人(またよしひろと)さんと、お仲間。
場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-1
4-3
会費：なし
問合せ先：淀川区社会福祉協議会(ボランティア・ビ
ューロー)
☎06-6394-2900

■「サロン・にしよど」6月の出会い

日時：6月26日(土)
内容：未定
ゲスト：未定
場所：西淀川在宅サービスセンター「ふくいく」
大阪市西淀川区千舟2-7-7
会費：なし
問合せと申込み先：☎090-9864-
9678(中本)

■「サロン「アイ」6月の出会い

日時：6月12日(土)午後1時30分～4時
内容：南米と落語(奇跡の隣人について)
～主人公・季復明(リ・プーモン)さん
の地域生活～
ゲスト：磯野 太郎氏さん(よろず屋さん)
場所：生野区在宅サービスセンター「おかちやま」
2階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20
会費：なし
問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6712-3101

■「サロンにし」6月の出会い

日時：4月12日(土)午後2時～4時
内容：「精神障がい者の家族の思い」
ゲスト：小椋芳子(おぐらよしこ)さん、
社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会・
会長代行
場所：西区在宅サービスセンター「ながほり」
大阪市西区新町4-5-14
会費：無料
問合せ先：宮脇淳☎090-3949-6973

■《てくてくすみよし》6月の出会い

日時：6月12日(土)
内容：お好み焼きパーティ
場所：あびさんサロン
参加費：1000円
申込み締切：6月6日(日)
問合せ先：山本篤江☎06-6692-8411
携帯☎090-5168-5977

■「サロン・つるみ」6月の出会い

日時：6月6日(日)午後1時30分～4時
内容：「上方落語を楽しむ会-桂枝雀の世界」
～前にも後にも二度と出ることのない
枝雀落語を三題楽しみましょう～
「延陽伯」「代巻」「高津の富」
場所：鶴見区民センター3階
[大阪市鶴見区横堤5-3-15]
会費：なし
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6913-7070

■「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月19日(土)午後2時～
内容：アコーディオンで、昔なつかしい歌声広場
場所：伸幸苑[伊丹市寺本6-150]
会費：なし
問合せ先：☎072-784-1718(安藤れい子)

<サロン・あべの>Vol.287 発行：平成22年(2010年)5月15日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 表題イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/ 「サロン・あべの」でも検索できます